

そこから見える未来

新 袋井の文化財



確かにここに生きた先人たちの想い。
それが文化財です。

祈り、喜び、慈しみ…。

長い年月の中で生まれた想いが形となり、
今、私たちに伝えられています。

この袋井の宝ものの由来や価値を知ることが、
袋井の新しい芽をみつけることでもあります。

未来へ、さらに未来へつなげていくために、

袋井の宝ものに出会ってみませんか。

袋井の宝ものを 未来へ。

目次

医王山油山寺	4
法多山尊永寺	6
萬松山可睡齋	8
安養山西楽寺	10
富士浅間宮本殿	12
袋井宿の足跡	13
史跡・考古資料	14
無形民俗・有形民俗・建造物	15
彫刻・工芸品・天然記念物	16
絵画・書跡・古文書・歴史資料	17
指定文化財一覧・マップ	18

袋井市のあゆみ

袋井市は静岡県西部に位置し、太田川、原野谷川、遠州灘と自然環境に恵まれ、平坦な大地には田園と茶畑が広がる美しいまちです。また「遠州三山」と呼ばれる古刹をはじめ、貴重な歴史的建造物が多く伝わるまちでもあります。

人が袋井を居住の場とし生活を始めたのは、1万5千年ほど前の旧石器時代だといわれています。縄文中期の紀元前3千年頃、小笠山の中腹や原野谷川岸の台地に集落が形成されるようになりました。弥生中期の1世紀には、太田川流域を中心に水田耕作が始まりました。

5～6世紀になると、支配層の墳墓として前方後円墳や円墳、横穴が築造されました。

江戸時代、東海道五十三次の27番目の宿場町として「袋井宿」が開設され、小規模ながら宿場町として栄えました。

袋井は「中遠の穀倉」と呼ばれ、長い間豊かな農村として発展してきましたが、昭和44年に東名高速道路袋井インターチェンジが開設されると、農業中心から農業と工業が複合した産業構造へと転換し、農業と工業が共に進展するバランスのよい田園都市を形成しました。

平成17年4月1日、旧袋井市と旧磐田郡浅羽町が合併し、新袋井市が誕生しました。



医王山油山寺は遠州三山のひとつで「あぶらやま」とも呼ばれ、多くの人々に親しまれている真言宗の古刹です。大宝元(701)年頃に、行基が無病息災などを願い、薬師如来をまつたことに始まると伝えられています。孝謙天皇が眼病の折、境内にある「るりの滝」の水で洗ったところ快癒したことから、眼病治癒の寺としても知られ、広く信仰を集めています。

広大な境内には木々が茂り、四季折々の美しさを見せています。桃山の三名塔として知られる三重塔、掛川城の御殿下御門を移した山門、本尊を納める本堂内厨子は国指定重要文化財となっています。



『緑陰おはなし会』市立図書館



2 油山寺山門 昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物

この門は、掛川城の玄関下御門を、明治5(1872)年廃城にあたって移築したもの。万治2(1659)年に井伊直好により創建。入母屋造り、本瓦葺。現存する県内唯一の城門。

説明板あり。WC。駐車場20台。



4 油山寺本堂内厨子 昭和29年9月17日 国指定重要文化財建造物

天正16(1588)年に、扉金具を奉納した記事があることから、厨子の造営は更に古い可能性が高い。

説明板あり。非公開。



7 油山寺本堂 昭和42年10月11日 県指定文化財建造物

元文4(1739)年に再建されたことが棟札に記されている。宝形造茅葺(現在は、茅葺型銅板)で、前面中央に向拝が付き、廻縁が巡る。



22 油山寺の御霊杉 昭和27年4月1日 県指定文化財天然記念物

樹高約16m。昔、弘法大師が与衛門夫婦の用意した箸で食事した後、地面にさしてたてたのがこの杉になったという言い伝えがある。

袋井名刹



医王山油山寺

境内の中にくつもの古と四季が香る

袋井市村松



3 油山寺三重塔



昭和29年9月17日
国指定重要文化財建造物

天正2(1574)年に起工し、久野城主・久野宗成の援助により慶長16(1611)年に完成。屋根頂上の相輪伏鉢に銘文が残る。総高23.884m。説明板あり。



8 油山寺書院



昭和44年5月30日
県指定文化財建造物

元禄12(1699)年横須賀城内に城主西尾忠成によって建てられ、安政6(1859年)に寄進を受け移築したものである。



11 油山寺方丈



昭和58年9月27日
県指定文化財建造物

遠州浅羽の代官仁科宇兵衛が宝暦14(1764)年に代官屋敷として建築した建物で、明治14(1881)年に油山寺が寄進を受けて移築したものである。



袋井市村松 1 ☎0538-42-3633



袋井
名刹

法多山 尊永寺

「はったさん」の名で親しまれる真言宗の古刹

袋井市豊沢

法多山尊永寺は遠州三山のひとつで「はったさん」と親しみを込めて呼ばれています。神亀2(725)年、行基によって開かれたと伝えられる真言宗の古刹です。本尊正観世音菩薩は厄除観音として知られ、正月には多くの老若男女が初詣に訪れます。春は桜、夏はホタル、秋はイチョウが美しく、また「田遊祭」「節分祭」「万灯祭」の行事には大変な賑わいを見せます。境内で売られている厄除けだんごは参拝者の楽しみのひとつでもあります。

桃山時代の様式を今に伝える仁王門、東京国立博物館に展示されている金銅五種鈴は国指定重要文化財となっています。



『緑陰おはなし会』市立図書館

25 尊永寺黒門

平成元年4月1日
市指定文化財建造物

檜皮葺切妻の四脚門である。宝永8(1712)年の銘がある。説明板あり。

国指定重要文化財 県指定文化財 市指定文化財



5 尊永寺仁王門 昭和29年9月17日
国指定重要文化財建造物

寛永17(1640)年の棟札が残される、室町時代末期の特色を残し、播磨国(兵庫県)から移築したとも言い伝えがある。入母屋造、こけら葺の楼門。
文化財ビデオ第15集『保存修理の最前線—重要文化財尊永寺仁王門保存修理の記録—』。
説明板あり。駐車場(一部有料)。



6 金銅五種鈴 昭和31年6月28日
国指定重要文化財工芸品

鎌倉時代の製作。銅鑄製。鍍金を施している。高さは平均約26cm。東京国立博物館で展示・保管。



19 法多山田遊祭 七段 昭和35年4月15日
県指定文化財民俗文化財

室町時代から伝わる「予祝芸能」で、その年の実を豊かなものになるよう仏に約束させる芸能です。毎年1月7日に行われ、七段の舞が奉納されます。
文化財ビデオ第7集『法多山田遊祭 七段』。



袋井市豊沢2777 ☎0538-43-3601





袋井
名刹

萬松山可睡齋

花の名所、徳川家康ゆかりの寺


袋井市久能

萬松山可睡齋は遠州三山のひとつで「おかすい」とも呼ばれる曹洞宗の古刹です。東海道一の禪の修行道場であり、多くの修行僧が集っています。秋葉三尺坊のご神体をまつていることから、秋葉信仰の総本山としても知られています。

11代目の住職が徳川家康と父親を戦乱の中から救い出し助けたことから、家康と親交が深く「可睡齋」の名前も家康が名付けたとも伝わります。

花の寺としても名高く、春はボタン、夏は鷺草、秋には紅葉を楽しむ見物客で賑わいます。




9 可睡齋護国塔  昭和53年3月24日
県指定文化財建造物

高さ17mの鉄筋コンクリート造り、人造石洗出仕上げの円形ドームで、明治44(1911)年の建設。日露戦争の戦死者の霊を祀るためにつくられた。


駐車場(一部有料)。






17 紙本墨書示了然道者法語  昭和45年6月2日
県指定文化財書跡典跡
道元(1200~53年)の弟子で尼僧了然に与えた法語と伝えられる。



48 武田信玄の竜の朱印状  昭和57年2月8日
市指定文化財古文書
元亀3(1572)年、武田信玄が遠江に侵攻した際に、寺社を保護する禁制として可睡斎へあてたものである。非公開。



15 梵鐘  昭和45年6月2日
県指定文化財工芸品
この梵鐘は当初、掛川市富部の西宮八王子大明神にあったもので、永正15(1518)年に鑄造されたことが銘文に記されています。総高100.2cm。



袋井
名刹

安養山西楽寺

柿葺の佇まい、
厳かな仏像の寺

袋井市春岡



13 西楽寺木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍坐像

平成8年11月18日
県指定文化財彫刻

ヒノキ材の一木割刳造りで、平安時代末期の特徴を表している。像高は中尊53.9cm、右脇侍43.7cm、左脇侍48.1cm。中尊像の体内には、正応3(1290)年に修理したことが記されている。



10 西楽寺本堂

昭和55年11月28日
県指定文化財建造物

平成の解体修理に際して発見された建物の部材に書かれた墨書によって、享保20(1735)年ごろに建てられたものであることがわかった。入母屋造り、こけら葺き。
文化財ビデオ第8集『西楽寺本堂 平成大修理』。
説明板あり。駐車場10台。

12 木造薬師如来坐像

昭和31年1月7日
県指定文化財彫刻

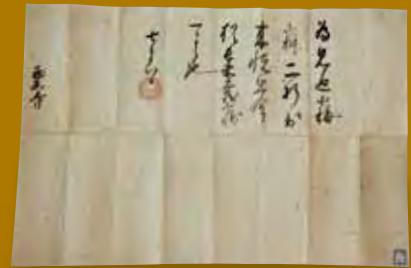
ヒノキ材の一木割刳造りで、平安時代後期の特徴を表している。
像高は84.0cm。





袋井市の北に位置する西楽寺は市内最古の寺。神亀元(724)年に聖武天皇の勅願により行基が開いたといわれる真言宗の古刹です。平安時代後期には真言密教の拠点道場として栄えました。その後は今川・豊臣・徳川氏との関係が深い寺であったことが、伝わる多くの文書から知ることができます。

新たに市指定文化財となった不動明王立像は像の銘文から、宝永7(1710)年、京都の鋳物師、常味製作のものと確認ができます。常味は近畿地方を中心に作品を残していますが、東日本では確認例が少なく、金銅仏の不動明王立像としては県内でも珍しいものです。本堂は享保年間に再建され、平成3年から3年半の工期をかけて大修理が行われました。



53 西楽寺朱印状

昭和62年5月11日
市指定文化財古文書

豊臣秀吉が、寺から送られた小梅・山椒のお礼状。
非公開。



38 西楽寺不動明王立像

平成22年2月24日
市指定文化財彫刻

台座に記された銘文から、京都堀川の鋳物師である常味によって宝永7(1710)年に作られたことがわかる。銅鑄造製。像高129.0cm。
〔撮影:大久保 治〕





富士浅間宮

四百年前に建立された流造の屋根が美しい

東名高速道路のすぐ北に位置する富士浅間宮。大同2(807)年、坂上田村麻呂が征夷の折、富士山麓の浅間神社の神力によって成功したことに感謝し、ここに勧請、社殿を造営したことに始まると伝えられています。古くから武士の信仰が厚い神社です。

武田氏の兵火にかかり社殿は焼失、天正18(1590)年に地頭本間源三郎重泰が再建、寛永15(1638)年に久野城主北条氏重によって現在の地へ移しました。

1 富士浅間宮本殿

昭和25年8月29日
国指定重要文化財建造物

本殿は三間社流れ造り、檜皮葺き。天正18(1590)年に、地頭本間源三郎重泰が社殿を造営。次いで寛永15(1638)年、久野城主・北条氏重が現在の地へ移しました。本殿左右の脇障子には左に「鯉の滝のぼり」、右に「松に鶴」が彫られている。説明板あり。

袋井市国本



41 原川浅間宮鰐口

昭和56年3月5日
市指定文化財工芸品

銅鑄製。銘文によると、天正17(1589)年に製作されたことがわかる。直径34cm。

非公開。

70 富士浅間宮田遊び祭

平成元年4月1日
市指定文化財無形民族

室町時代から伝わる「予祝芸能」で、その年の実を豊かなものになるように、神に約束させるものです。毎年1月3日に、拝殿を中心に、氏子の男子によって行われる。

文化財ビデオ第3集「富士浅間宮田遊び祭」。



袋井市国本992



袋井に宿場が設けられたのは元和2(1616)年のこと。徳川幕府が宿駅制度を定めてから15年後のことです。宿間の距離は通常2里余りでしたが、掛川と見付宿間が4里ほどあったため、間に袋井宿が設けられました。

天保14(1843)年の調査によると、宿内の町並みは西端の中川まで5町15間、人口843人、家数は本陣3軒と旅籠屋50軒を含め195軒でした。

江戸、京都どちらから数えても「東海道五十三次」の27宿目の宿であることから「東海道ど真ん中」として、これを観光資源などに活かし、現在まちづくりが行われています。

梅屋敷に看板を贈った林伊太郎は「林鶴梁」の名で知られる、江戸後期から明治期の儒学者、幕臣です。中泉(現磐田市)代官赴任中に起こった安政の大地震の際、領民の救済に尽力するなどの功績をあげました。文章に秀で、書物も残しています。

袋井宿の足跡

東海道の宿場町として栄えた江戸時代



59 梅屋敷の看板 袋井

昭和57年2月8日
市指定文化財歴史資料

嘉永6(1853)年から安政5(1858)年まで中泉代官を務めた林伊太郎は、袋井宿の西のはずれにあった小七が営む「梅屋敷」という店が気に入り度々訪れた。伊太郎は「別春居記」という書き物や、「梅花飯類」の看板を贈った。 **非公開。**



45 袋井本陣御宿帳 新屋

昭和49年10月24日
市指定文化財古文書

東(田代)本陣での元和4(1618)年から寛永11(1634)年までの休泊状況が記録されている。 **非公開。**



44 袋井宿開設お墨付 袋井

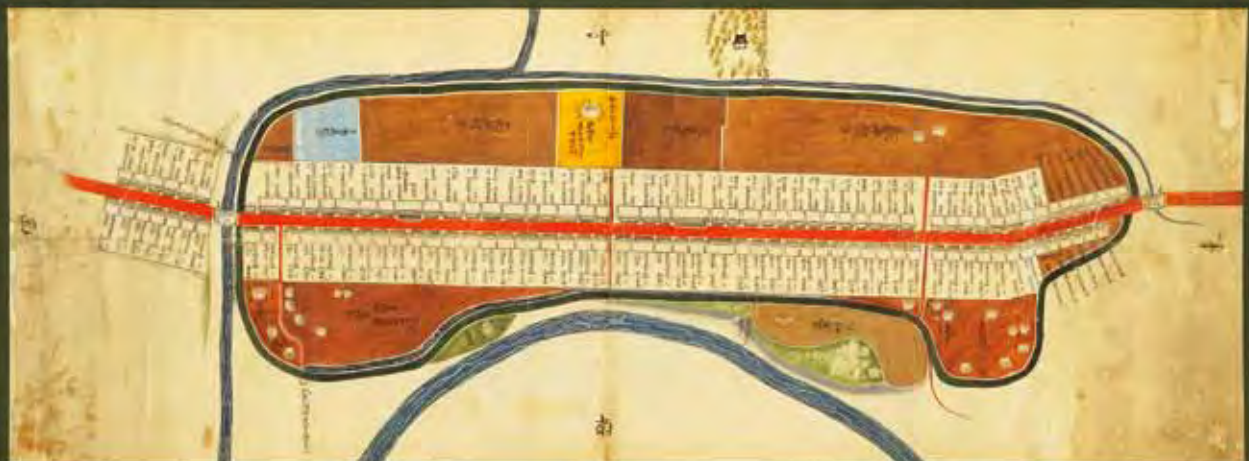
昭和49年10月24日
市指定文化財古文書

元和2(1616)年に、宿の開設を命じたものである。 **個人蔵/非公開。**

58 袋井宿絵図 新屋

昭和53年11月9日
市指定文化財歴史資料

袋井宿の町並みを描いた絵図で、江戸時代末期ごろに制作されたと推定される。 **非公開。**



【史跡】



20 大門大塚古墳・出土遺物 高尾

平成5年3月26日
県指定文化財史跡

直径27.0mの円墳。埋葬施設は、円礫積み横穴式石室で、銅鏡、1字鏡板付簪、剣菱形杏葉、楕円形鏡板付簪、玉類、須恵器が出土。6世紀前半ごろの築造。

説明板あり。浅羽郷土資料館に一部展示。



76 十二所居館 諸井

平成10年1月27日
市指定文化財史跡

袋井市諸井の心宗院を中心とする一帯に残る土豪の館跡。13世紀後半から数度の改修を経て、16世紀の後半まで断続的に利用されている。南北約105m、東西約85mの規模を有す。

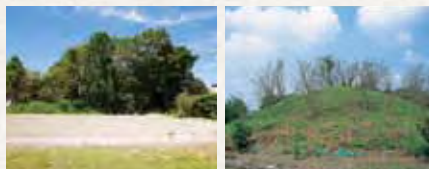
説明板有り。



79 小笠原氏清供養塔 浅名

平成17年1月28日
市指定文化財史跡

馬伏塚城主であった小笠原氏清の供養塔で、天正4(1576)年に改葬された際に造られたと伝えられる。高さ155cm。幅54cmの五輪塔。



21 大野命山・中新田命山 大野・中新田

平成19年3月20日
県指定文化財史跡

延宝8(1680)年に東海地方を襲った台風の後、大きな被害のあった大野・中新田地区の人々によって造られた避難所の機能を持つ塚である。大野命山:長辺38m×短辺24m×高さ4m。中新田命山:長辺35m×短辺26m×高さ5.5m。

説明板あり。駐車場2台(中新田命山)。



74 馬伏塚城跡 浅名

昭和55年11月3日
市指定文化財史跡

戦国時代の城で、高天神城の攻防に際しては、武田方に対抗する徳川方にとって重要な拠点であった。城主は、小笠原長高(1544年歿)から、高力清長(1582年駿河国田中城へ)まで、7人の名がある。

説明板あり。

73 源朝長墓 友永

昭和54年10月1日
市指定文化財史跡

平治元(1159)年に平治の乱で平清盛に敗れた源義朝らは、東国へ落ち延びる途中、次男朝長(源頼朝の兄)は、矢傷を受け岐阜県大垣市青墓で自害した。従者の大谷忠太は、朝長の首を自らの故郷袋井市三川へ密かに持ち帰せたと伝えられる。

説明板あり。駐車場5台。



72 久野城址 鷺巣

昭和54年10月1日
市指定文化財史跡

明応年間(1492~1501)ころに、久野宗隆によって築城されたと伝えられる。丘陵先端部を切断し、東西南方向に堀を巡らしている。城内には、堅堀、土塁、井戸などが残る。久野氏・松下氏と城主が遷り、北条氏重を最後に、正保元(1644)年廃城となる。

説明板あり。WC。駐車場15台。



78 古新田遺跡 浅羽

平成17年1月28日
市指定文化財史跡

浅羽東小学校建設に先立って発掘調査が行われ、企画性を持つ建物群が発見され、居館域・倉庫域・竪穴住居域などから構成されていることが明らかとなった。その後の調査により、四面庇建物も発見されている。

77 浅羽佐喜太朗公紀念碑 梅山

平成10年7月31日
市指定文化財史跡

袋井市梅山の常林寺に立つ。高さ2.27m、幅0.89mの石碑。浅羽佐喜太郎の威徳を偲ぶため、旧東浅羽村の人々と、ベトナム独立運動の指導者のひとり、ファン・ボイ・チャウによって大正7(1918)年に建立。

説明板あり。駐車場5台。

75 万松院の切支丹灯籠 梅山

昭和56年11月3日
市指定文化財史跡

キリスト教の弾圧の厳しかった江戸時代に、キリスト像を模した灯籠を造って密かに信仰を続けた。石材は、兵庫県赤御影石。復元高約1.6m。

説明板あり。



【考古資料】



18 五ヶ山 B2 号墳出土遺物 浅名

平成15年3月12日
県指定文化財考古資料

長辺34.0m、短辺29.0mの二段築成の方墳。墳丘には葺石と埴輪が巡る。木棺直葬の埋葬施設の周囲からは、漆塗りの盾が3点発見され、棺内からは三角板革織短甲・冑・冑甲・頸甲、鉄剣、鉄刀、やりがんな、斧等多数出土。棺外からは、鉄製鉾や鉄鎌が出土。5世紀中ごろの築造。

浅羽郷土資料館に一部展示。



56 管玉 浅名

昭和17年1月28日
市指定文化財考古資料

北山遺跡1号墓より262点出土。緑色凝灰岩を中心に、鉄石英の材質。弥生時代中期ごろ。

浅羽郷土資料館で展示。



57 鉄剣 浅名

平成17年1月28日
市指定文化財考古資料

団子塚遺跡D地点の1号周溝墓より出土。全長34.0cm。弥生時代後期ごろ。

浅羽郷土資料館で展示。



55 五軒平古墳出土五鈴鏡 愛野

昭和57年2月8日
市指定文化財考古資料

愛野地内より開墓中に発見。直径8.8cm、周囲に5個の鈴が付く。青銅製。古墳時代後期。個人蔵/非公開。

【無形民俗】



69 木原大念仏 木原
昭和56年3月5日
市指定文化財無形民俗

天正6(1578)年、高天神城の侍であった篠田源五が、木原で非業の死を遂げた。その霊を慰めるために始められたと伝えられ、毎年8月のお盆に行われている。



71 岡山山の神祭り 浅名
平成7年1月28日
市指定文化財無形民俗

毎年12月8日の早朝に、山の神の化身となった袋井市浅名岡山地区の小学生が、笹竹を持ちながら、集落全戸を清めて回る神事。



68 源朝長公御祭礼 友永
昭和54年10月1日
市指定文化財無形民俗

毎年8月15日の夜、平治の乱で悲運の最期を遂げた源朝長の霊を弔うために、御沙汰神社から積雲院までの間で行われている。

源朝長

源朝長は平安時代末期の武将。源義朝の次男。頼朝・義経は弟。16歳という短い生涯を閉じた朝長は岐阜県大垣市に葬られました。敵に墓をあばかれ京でさらし首にされてしまいます。朝長の守役であった大谷忠太は首を奪い返し、自分の故郷の地に埋葬したのだといわれています。

【有形民俗】



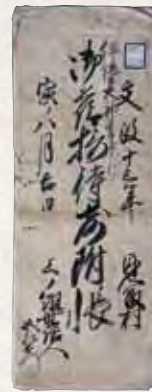
66 橋逸勢供養塔 上山梨
昭和62年5月11日
市指定文化財有形民俗

嵯峨天皇・弘法大師(空海)とともに「日本三筆」と呼ばれる橋逸勢の供養塔。承和の変(842年)で、謀反を起こし伊豆に流される途中病死した。



64 長泉寺薬師如来立像附遠江四十九薬師像 深見
昭和62年5月11日
市指定文化財有形民俗

他に類を見ない小形の四十九薬師像である。像高37.0cm。非公開。



65 伊勢大神宮 おかげ御陰接待寄附帳 見取
昭和62年5月11日
市指定文化財有形民俗
文政13(1830)年の、伊勢神宮へのお陰参りのことが記されている。非公開。



67 六十六部 日本廻国納経帳 小山
昭和62年5月11日
市指定文化財有形民俗
袋井市小山の大有が元文4(1739)年に、全国122社寺を回り奉納した納経帳。個人蔵/非公開。

橋逸勢

橋逸勢は平安時代の書家。延暦23(804)年に最澄・空海らと遣唐使として唐に渡りました。唐では「橋秀才」と称されたといわれています。現在、橋逸勢の書と明確に確認できるものは残っていませんが、「三筆」の一人であることは大変有名です。

【建造物】



23 白山権現社 高尾
昭和51年9月21日
市指定文化財建造物

赤尾洪垂神社内にあり、天正16(1588)年と、嘉永2(1849)年の棟札が残っている。駐車場20台。



24 雲谷寺東司 大谷
昭和60年3月19日
市指定文化財建造物

この東司(トイレ)は、棟木に残る墨書によると、寛政8(1796)年に建立されたことがわかり、当初は本堂南東前方にありました。説明板あり。駐車場10台。



26 建福寺薬師堂 川会
平成6年3月28日
市指定文化財建造物
貞享4(1687)年の修理記録をもつ入母屋造の三間堂。



27 旧澤野医院 川井
平成11年4月23日
市指定文化財建造物
幕末から昭和初期にかけて建築されたと推定され、木造洋風二階建ての病棟と、木造和風平屋建ての居宅などからなる。文化財ビデオ第14集「澤野医院記念館一解説ビデオ」。土日祝日閉館。説明板あり。WC。駐車場8台。

【彫刻】



32 聖観世音菩薩 浅羽

昭和57年11月3日
市指定文化財彫刻

岩松寺の本尊で、平安時代末期の特徴をあらわす。ヒノキ材の一本造りで、像高95.0cm。60年に一度開帳される秘仏（次回は2014年の予定）。
説明板あり。



33 不動明王二童子立像 浅羽

平成13年11月1日
市指定文化財彫刻

平安時代末期の特徴をあらわす。寄木造りで、中尊不動明王の像高132.0cm。非公開。



35 阿弥陀如来坐像 梅山

平成17年1月28日
市指定文化財彫刻

ヒノキの一本造り。像高31.8cm、平安時代後期の特徴を持つ。

34 阿弥陀三尊像 浅名

平成13年11月1日
市指定文化財彫刻

鎌倉時代中期の作風を伝える。中央の阿弥陀如来像は、像高53.5cmで寄木造りである。右脇侍は、観世音菩薩像、左脇侍は勢至菩薩像。



30 薬師如来立像 川井

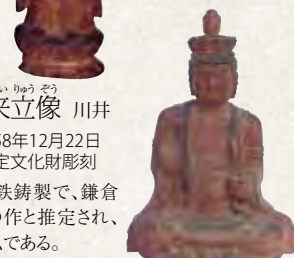
昭和58年12月22日
市指定文化財彫刻

像高約125cm。鉄鑄製で、鎌倉時代中期ごろの作と推定され、県内唯一の鉄仏である。
説明板あり。

31 長泉寺 薬師如来立像 深見

昭和60年3月19日
市指定文化財彫刻

像高39cm。鎌倉時代後期の作と推定される。久野城主・久野宗成の念持仏とも伝えられる。非公開。



37 十一面観音坐像 富里

平成17年1月28日
市指定文化財彫刻

富里王子神社の本持仏であったが、神仏分離で松寿寺に移された。カヤ材の一本造りで、像高42.5cmである。室町時代の特徴を示す。

36 獅子頭 富里

平成17年1月28日
市指定文化財彫刻

ヒノキ造り。長さ33cm、高さ27cm。正保3(1646)年に、長田庄司によって補修されたことが記されている。非公開。



【工芸品】



14 梵鐘（正福寺）上山梨

昭和31年10月17日
県指定文化財工芸品

この梵鐘は当初、遠州橋本教恩寺（新居町）にあり、文明6(1474)年に鑄造された。その後、天正12(1584)に森町一宮から移したことがわかる。説明板あり。駐車場3台。



39 古瀬戸黄釉瓶子 新屋

昭和51年9月21日
市指定文化財工芸品

昭和49年に鶴松遺跡より出土。鎌倉～室町時代に愛知県の瀬戸窯で焼かれた施釉陶器。非公開。



42 鱧口 浅羽

昭和58年11月3日
市指定文化財工芸品

室町時代の特徴を持ち、直径15.5cm、厚さ4cmである。青銅製で、片面の鑄型により、表裏二面を青銅で鑄造している。個人蔵/非公開。



16 岩松寺の鱧口 浅羽

昭和31年10月17日
県指定文化財工芸品

大永2(1522)年に製作し、遠江国分寺薬師堂（磐田市）に奉納したものである。非公開。



40 用行義塾版木 広岡

昭和56年3月5日
市指定文化財工芸品

明治6(1872)年に発校した「久津部村用行義塾」の、規則や学習要項を刻した版木である。袋井東小学校蔵。非公開。

【天然記念物】



81 梅山八幡神社の森 梅山

昭和60年11月3日
市指定文化財天然記念物

森の広さ約4.600㎡の中に、シイ・タブノキ・クスノキ・ユズリハ・クログネモチなど約35種の樹木が繁っている。市内では、油山寺・尊永寺境内の森とともに、「静岡県のお宮の森・お寺の森100選」(昭和62年選定)に選ばれている。説明板あり。駐車場5台。



80 大頭竜神社のまき 広岡

昭和52年1月12日
市指定文化財天然記念物

大頭竜神社の西側に立つ樹高約14mの槇で、樹齢約350年と推定される。



82 槇の木 松原

昭和60年11月3日
市指定文化財天然記念物

袋井市松原の個人宅に自生する目通り2.5m、樹齢約300年の巨木。説明板あり。



83 イマメの木 松原

昭和60年11月3日
市指定文化財天然記念物

袋井市松原の個人宅に自生する目通り1.7m、樹齢約150年の巨木。説明板あり。

【絵画】



29 用福寺釈迦涅槃図 上山梨

平成6年3月28日
市指定文化財絵画

正徳4(1714)年作成。「遠江周智郡上山梨中町住藤下又四郎守房」の墨書から、地元の絵師により描かれたことがわかる。タテ158.0cm×ヨコ190.0cm。 非公開。



28 蜀棧道 下山梨

昭和53年11月9日
市指定文化財絵画

袋井市平宇に生まれた足立雪山(1845~1921)が、大正6(1917)年に制作した。個人蔵/非公開。

【書跡】



43 孝経 豊沢

昭和53年11月9日
市指定文化財書跡

袋井市村松の油山寺に生まれた書家・川村驥山(1882~1969)の作品で、約1時間半で流れるように暗書したと伝えられる。個人蔵/非公開。

【古文書】



50 徳川家七ヶ条定書 新屋

昭和58年12月22日
市指定文化財古文書

天正17(1589)年、徳川家康は農民支配の統一した基準として、一斉に交付した。この定書は、「深見郷」に宛てたものである。 非公開。



47 堤上置道置土についての裁定書 小山

昭和53年11月9日
市指定文化財古文書

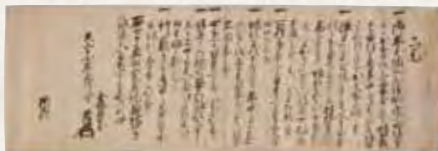
元禄元(1688)年に出された本状には、小山村と土橋村のあいだで起こった論争の裁決文である。 非公開。



49 辰年宇刈馬谷村可納御年貢割付の書状 宇刈

昭和58年12月22日
市指定文化財古文書

慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、宇刈馬谷村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)に関する書状である。個人蔵/非公開。



54 拾歩彦御朱印状~徳川七ヶ条御定書~ 梅山

昭和56年11月3日
市指定文化財古文書

天正17(1589)年、徳川家康は農民支配の統一した基準として一斉に交付した。この定書は「梅田村」に宛てたものである。



51 文化六年菩提新田已改茶畑検地帳 文化十三年菩提新田子改茶畑検地帳 豊沢

昭和58年12月22日
市指定文化財古文書

文化6(1809)年と、文化13(1816)年の茶畑検地帳で、一筆ごとに畑・間数・面積などが記されている。個人蔵/非公開。



46 遠江国山名郡川井村水帳 川井

昭和49年10月24日
市指定文化財古文書

慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、川井村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)の写しである。個人蔵/非公開。



52 遠州周智郡宇刈之内馬ヶ谷村御検地水帳 宇刈

昭和58年12月22日
市指定文化財古文書

慶長9(1604)年に行われた遠州総検地の一環として、宇刈馬谷村で行われた検地(田畑などの面積を計測すること)に関する書状である。個人蔵/非公開。

【歴史資料】



60 北条出羽守氏重移葬葬列図 国本

昭和62年5月11日
市指定文化財歴史資料

久野城最後の城主、北条氏重の移葬の様子を伝えている。万治元(1658)年、64歳で亡くなる。 非公開。

61 今川了俊歌切 堀越

昭和62年5月11日
市指定文化財歴史資料

海蔵寺を開基した今川了俊は、室町時代の武将・歌人である。小倉百人一首の中から四首を写した自筆の歌切である。 非公開。



62 妙日尊儀 妙蓮尊儀供養塔 広岡

昭和62年5月11日
市指定文化財歴史資料

身延山二十六世知恩院富桜即上人が正保3(1646)年に妙日寺に造立した供養塔。 説明板あり。駐車場10台。



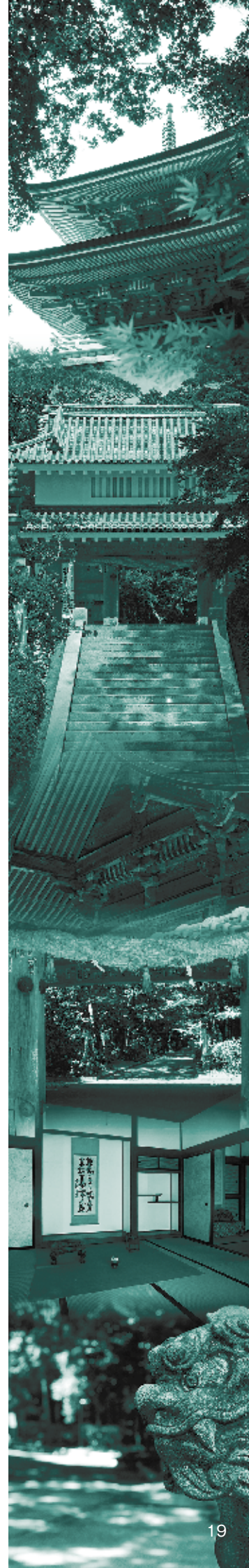
63 裁許状絵図4点 松原

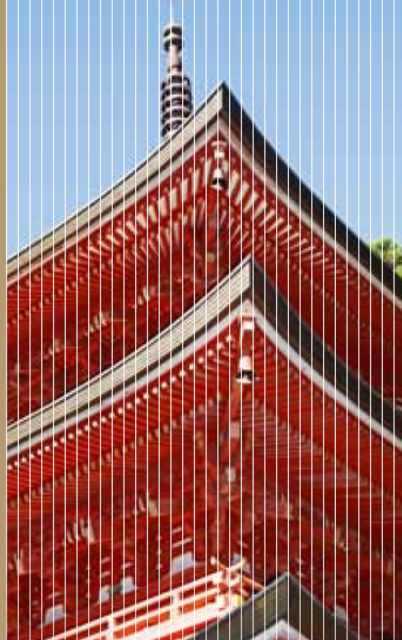
昭和58年11月3日
市指定文化財歴史資料

貞享3(1686)年、中畦堤を境に上輪4ヶ村と、下輪14ヶ村が大争いをした際の絵図(裁許状絵図)。その他、正徳3(1713)年の西崎村と松原村の絵図。延享2(1745)年の浅羽庄井組26ヶ村惣8ヶ村と新池村の絵図。同写しの絵図。 非公開。

指定文化財一覽 (重要文化財6件、県指定文化財16件、市指定文化財61件 計83件)

指定種別	番号	名 称	指定年月日	所 在 地	所 有 者	
重要文化財	建 造 物	1 富士浅間宮本殿	S25. 8.29	国本 992	富士浅間宮	
		2 油山寺山門	S29. 9.17	村松 1	油山寺	
		3 油山寺三重塔	S29. 9.17	村松 1	油山寺	
		4 油山寺本堂内厨子	S29. 9.17	村松 1	油山寺	
		5 尊永寺仁王門	S29. 9.17	豊沢 2777	尊永寺	
県指定文化財	工 芸 品	6 金銅五種鈴	S31. 6.28	豊沢 2777	尊永寺	
		7 油山寺本堂	S42.10.11	村松 1	油山寺	
	有 形 定 文 化 財	建 造 物	8 油山寺書院	S44. 5.30	村松 1	油山寺
			9 可睡斎護国塔	S53. 3.24	久能 2913-4	可睡斎
		10 西楽寺本堂	S55.11.28	春岡 384	西楽寺	
		11 油山寺方丈	S58. 9.27	村松 1	油山寺	
		彫 刻	12 木造薬師如来坐像	S31. 1. 7	春岡 384	西楽寺
			13 西楽寺木造阿弥陀如来坐像及び両脇侍坐像	H 8.11.18	春岡 384	西楽寺
		工 芸 品	14 梵鐘	S31.10.17	上山梨 1015	正福寺
			15 梵鐘	S45. 6. 2	久能 2915-1	可睡斎
		書 跡	16 岩松寺の鰐口	S31.10.17	浅羽 3598	岩松寺
			17 紙本墨書示了然道者法語	S45. 6. 2	久能 2915-1	可睡斎
		民俗文化財	18 五ヶ山B 2号墳出土遺物	H15. 3.12	浅名 1021	袋井市
			19 法多山田遊祭 七段	S35. 4.15	豊沢 2777	保存会
		史 跡	20 大門大塚古墳	H 5. 3.26	高尾 776-1	袋井市
			21 大野命山・中新田命山	H19. 3.20	大野 3435・中新田 262	寄木神社(大野)・寄木神社(中新田)
天然記念物	22 油山寺の御霊杉	S27. 4. 1	村松 1	油山寺		
市指定文化財	建 造 物	23 白山権現社	S51. 9.21	高尾 222	赤尾波垂神社	
		24 雲谷寺東司	S60. 3.19	大谷 1337	雲谷寺	
		25 尊永寺黒門	H 1. 4. 1	豊沢 2777	尊永寺	
		26 建福寺薬師堂	H 6. 3.28	川会 1083	建福寺	
		27 旧澤野医院	H11. 4.23	川井 444-1	袋井市	
		絵 画	28 蜀棧道	S53.11. 9	下山梨	個 人
			29 用福寺釈迦涅槃図	H 6. 3.28	上山梨 815	用福寺
	彫 刻	30 薬師如来立像	S58.12.22	川井 144-1	宗門寺	
		31 長泉寺薬師如来立像	S60. 3.19	深見 1730	長泉寺	
		32 聖観世音菩薩	S57.11. 3	浅羽 3598	岩松寺	
		33 不動明王二童子立像	H13.11. 1	浅羽 3598	岩松寺	
		34 阿弥陀三尊像	H13.11. 1	浅名 1342	了教寺	
		35 阿弥陀如来坐像	H17. 1.28	梅山 1	梅山八幡神社氏子総代会	
		36 獅子頭	H17. 1.28	富里 700	王子神社氏子総代会	
		37 十一面観音坐像	H17. 1.28	富里 453	松秀寺檀家総代会	
		38 西楽寺不動明王立像	H22. 2.24	春岡 384	西楽寺	
		工 芸 品	39 古瀬戸黄釉瓶子	S51. 9.21	新屋 1-1-1	袋井市
	40 用行義塾版木		S56. 3. 5	広岡 2317-1	袋井東小学校	
	書 跡	41 原川浅間宮鰐口	S56. 3. 5	国本 964	富士浅間宮	
		42 鰐口	S58.11. 3	浅羽	個 人	
		43 孝経	S53.11. 9	豊沢	個 人	
		44 袋井宿開設お墨付	S49.10.24	袋井	個 人	
		45 袋井本陣御宿帳	S49.10.24	新屋 1-1-1	袋井市	
		46 遠江国山名郡川井村水帳	S49.10.24	川井	個 人	
		47 堤上置并道置土についての裁定書	S53.11. 9	小山	小山自治会	
		48 武田信玄の篋の朱印状	S57. 2. 8	久能 2915-1	可睡斎	
		49 辰年宇苅馬谷村可納御年貢割付の書状	S58.12.22	宇刈	個 人	
		50 徳川家七ヶ条定書	S58.12.22	新屋 1-1-1	袋井市	
		51 文化六年菩提新田已改茶畑検地帳	S58.12.22	豊沢	個 人	
		52 文化十三年菩提新田子改茶畑検地帳	S58.12.22	宇刈	個 人	
		53 西楽寺朱印状	S62. 5.11	春岡 384	西楽寺	
		54 拾歩寺御朱印状～徳川七ヶ条御定書～	S56.11. 3	梅山	梅山自治会	
	考 古 資 料	55 五軒平古墳出土五鈴鏡	S57. 2. 8	愛野	個 人	
		56 管玉	H17. 1.28	浅名 1021	袋井市	
		57 鉄剣	H17. 1.28	浅名 1021	袋井市	
		歴 史 資 料	58 袋井宿絵図	S53.11. 9	新屋 1-1-1	袋井市
			59 梅屋敷の看板	S57. 2. 8	袋井	個 人
			60 北条出羽守氏重移葬列図	S62. 5.11	国本 499	上嶽寺
			61 今川了俊歌切	S62. 5.11	堀越 764-1	海蔵寺
			62 妙日尊儀妙蓮尊儀供養塔	S62. 5.11	広岡 2340	妙日寺
			63 裁許状絵図 4点	S58.11. 3	松原	個 人
	民 俗 文 化 財	有 形	64 長泉寺薬師如来立像附遠江四十九薬師像	S62. 5.11	深見 1730	長泉寺
			65 伊勢大神宮おかげ御蔭接待寄附帳	S62. 5.11	見取	個 人
		無 形	66 橘逸勢供養塔	S62. 5.11	上山梨 815	用福寺
			67 六十六部日本廻国納経帳	S62. 5.11	小山	個 人
			68 源朝長公御祭礼	S54.10. 1	友永 648	保存会
			69 木原大念仏	S56. 3. 5	木原 1	保存会
			70 富士浅間宮田遊び祭	H 1. 4. 1	国本 992	保存会
			71 岡山山の神祭り	H17. 1.28	浅名	保存会
	史 跡	72 久野城址	S54.10. 1	鷺巣 1135 他	袋井市	
		73 源朝長墓	S54.10. 1	友永 648	積雲院	
		74 馬伏塚城跡	S55.11. 3	浅名 1156	諏訪神社総代	
		75 万松院の切支丹灯笼	S56.11. 3	梅山 468-1	万松院檀徒総代	
		76 十二所居館	H10. 1.27	諸井 452-20 他	袋井市	
		77 浅羽佐喜太郎公紀念碑	H10. 7.31	梅山 131	常林寺	
		78 古新田遺跡	H17. 1.28	浅羽 2641-1	袋井市	
		79 小笠原氏清供養塔	H17. 1.28	浅名 1342	了教寺檀家総代会	
		天 然 記 念 物	80 大頭竜神社のまき	S52. 1.12	広岡 571	大頭竜神社
			81 梅山八幡神社の森	S60.11. 3	梅山 181	梅山八幡神社総代
	82 榎の木		S60.11. 3	松原	個 人	
	83 イマメの木		S60.11. 3	松原	個 人	





袋井市教育委員会